

開腹手術を受けられる方へ

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 腸の動きが良く、ガスや便が出る。 傷から血や液が出ていない。	痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 吐き気がない。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点が理解できる。				
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	(主治医より)手術について説明します。 (麻酔医より)麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。 					(看護師より)退院後の生活について説明します。 (主治医より)退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	 適時	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時 1,2,3,6時間後 それ以後翌日10時まで4時間毎(指示有り)	4回	4回	2回	1回	1回	
排泄	15時から尿量測定を 始めます。	尿量測定を続けます。	手術中、尿道カテーテルを入れます。	動けるようになったら尿道カテーテルを抜きます。 病棟内トイレまで歩きます。	尿量測定は15時で終了です。					
処置	必要時、手術部位の毛剃り があります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より 点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰 室ます。 背中に痛み止めのチュー ブ、お腹にドレーンが付いて くる場合があります。 点滴は主治医の指示ある まで持続で実施します。	採血があります。 朝、酸素投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。 朝・夕に抗生剤の点滴をし ます。	痛み止めがなくなれば背 中に入っている痛み止め のチューブを抜きます。 動けるようになれば弾力 ハイソックスを脱いでかま いません。 	採血、採尿をします。	創部の抜糸をする 場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。		
準備	必要物品を購入してくだ さい。 マジックテープ式腹帯 2～3枚 T字帯2枚 ナプキン1枚 すべて1枚ずつ、看護師が お預かりします。	身の回りの荷物は一つにま とめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 T字帯1枚、体温計、 ティッシュ等をセットしてお いてください。	朝起きたら弾力ハイソックス を履き、病衣に着替えてお いてください。 下着はパンツのみつけます。	何でもご相談ください! 						
投薬	手術のため内服薬をお預 かりします。内服している 薬は続けて服用してくださ い。 寝る前に緩下剤の内服が あります。 	麻酔科医の指示により内服 薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤を処方し ますので、お知らせください。 	麻酔科医の指示で手術前 に安定剤の内服がある場合 があります。	術後、喉の痛みにはトロー チをお渡しします。 	10時より、腸の動きをよくする 漢方薬を飲み始めます。 					
安静	制限ありません。			ベッド上安静にしてくだ さい。 膝を立てたり腕を動かしたり はかまいません。 体の向きも変えてもかま いませんが、難しい時は看護 師が介助します。	ベッドサイドに立ってかま いません。 最初は看護師がそばで見守 ります。	病室内は歩けます。	病棟内、制限ありません。	制限ありません。		
食事	制限ありません。	昼より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示 に従ってください。	朝から水分開始、昼から 重湯が開始になります。 	昼から5分粥です。 	昼から全粥です。	昼から普通食です。 			
清潔	入浴可能です。			体を拭いてお下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範 囲でご自分でも拭くようにし ましょう。 着替えもします。 	体を拭くタオルをお持ちし ます。出来る範囲でご自分 でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご 使用ください。 	シャワー-浴開始です				

広汎子宮全摘術を受けられる方へ

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 創部に問題がない。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。	(主治医より)手術について説明します。 (麻酔医より)麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡します。署名後、看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。	(医師より)手術の結果について説明があります。	医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。	看護師より膀胱体操について説明します。	(看護師より)退院後の生活について説明します。 リンパ浮腫の予防について説明します。 (担当医師より)退院後の外来受診や服薬などについて説明します。			
検温	適時	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時 1.2.3.6時間後、それ以後、翌日6時まで4時間毎(指示有り)	4回	4回	2回	1回		
排泄	15時から尿量測定を始めます。	尿量測定を続けてください。	尿量測定を続けて下さい。	手術中に尿道カテーテルを入れます。	医師の指示まで尿道留置カテーテルは入ったままです。排便時はトイレまで歩けます。尿道カテーテル抜去後は、尿量測定をしてください。排尿後、膀胱に尿が残っていないか看護師が管で尿をとり確認します。医師の許可があれば、尿量測定を終了します。					
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝から点滴があります。	手術室より酸素を付けて帰室します。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にはドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は医師の指示あるまで持続。	採血します。 朝、酸素投与を中止します。 医師が診察します。 点滴は夕方まで持続。 朝・夕に抗生剤の点滴をします。	痛み止めがなくなれば、背中に入っている痛み止めチューブを抜きます。 動けるようになれば、弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿します。	創部の抜糸をする場合があります。	(術後6日目)採血・採尿があります。内診があります。	
準備	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯 2～3枚 T字帯2枚 ナプキン1枚 すべて1枚ずつ、看護師がお預かりします。	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、腹帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら、弾力ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。							
投薬	内服している薬は続けて服用してください。手術のため、内服薬をお預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。	眠れない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。	麻酔科医師の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	10時より腸の動きをよくする漢方薬を飲みます。					
安静	制限はありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。体の向きも変えてもかまいませんが、難しいときは看護師が介助します。	ベッドサイドに立ってかまいません。最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限はありません。		
食事	制限はありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医師の指示に従って下さい。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥です。	昼から全粥です。	昼から普通食です。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。	体を拭くタオルをお持ちします。出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		医師の許可があれば、シャワー浴開始です。		

開腹手術(リンパ節郭清あり)を受けられる方へ

	入院日 /	手術前日 /	(手術前)	手術当日 /	(手術後)	手術後1日目 /	手術後2日目 /	手術後3日目 /	手術後4日目 /	術後5日目～退院 /
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 腸の動きが良く、ガスや便が出る。 傷から血や液が出ていない。	痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 吐き気がない。 病棟内歩行ができる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点が分かる。				
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	(主治医より)手術について説明します。 (麻酔医より)麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。署名後、看護師にご提出ください。 	手術に出る時間までにご家族の方に来てもらってください。	主治医より手術の結果について説明があります。 	医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。 			(看護師より)退院後の生活について説明します。 リンパ浮腫の予防について説明します。 (主治医より)退院後の外来受診や服薬などについて説明します。 		
検温	 適時 	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時 1・2・3・6時間後 それ以後翌日10時まで4時間毎(指示有り)	4回	4回	2回	1回	1回	
排泄	15時から尿量測定を始めます。	尿量測定を続けてください。	手術中、尿道カテーテルを入れます。		動けるようであれば、尿道カテーテルを抜きます。病棟内トイレまで歩けます。	尿量測定は15時で終了です。				
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に痛み止めのチューブが、お腹にドレーンが付いている場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血があります。 朝に酸素投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続します。 朝・夕に抗生剤の点滴をします。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 動けるようになったら、弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿があります。創部の抜糸がある場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。		
準備	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯2～3枚 T字帯2枚 ナプキン1枚 すべて1枚ずつ、看護師がお預かりします	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら弾力ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。							
投薬	内服している薬は続けて服用してください。手術のため、内服薬をお預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	眠れない時は眠剤を処方しますのでお知らせください。	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服のある場合があります。 	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。 	10時より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てる・腕を動かすのはかまいません。体の向きも変えてもかまいませんが、難しい時は看護師が介助します。	ベッドサイドに立ってかまいません。最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。		
食事	制限ありません。	昼より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥です 	昼から全粥です。	昼から普通食です。 		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。トイレにしましょう。着替えもします。 	体を拭くタオルをお持ちします。出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。トイレでウォッシュレットをご使用ください。 	(術後4日目～) シャワー浴が開始となります。			

緊急開腹手術を受けられる方へ

	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 手術の受け入れができています。	傷から出血がない。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 病棟内歩行ができる。	 医師の記入が必要な書類などありましたら、 平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出ください。			退院後の生活の注意点、外来受診の必要性もわかる。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。
説明	医師から手術の結果について説明があります。					看護師より退院後の生活について説明があります。 主治医より退院後の外来受診や服薬などについて、説明があります。
検温	 帰室時 1.2.3.6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎	4回	4回	2回	1回	1回
排泄	尿道留置カテーテルから自然に尿が出ます。		動けるようであれば、尿道留置カテーテルを抜き、病棟内トイレまで歩行します。 1日の尿量を確認するために、尿量測定を行って下さい。	15時で尿量測定は終了です。		
処置	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にドレーンが付いている場合があります。 点滴は医師の指示があるまで持続で実施します。 看護師が1～4時間毎に伺い、検温と手術後の観察をします。	採血があります。 朝に酸素の投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。 朝・夕の抗生剤の点滴もあります。	痛み止めがなくなれば、背中入っている痛み止めのチューブを抜きます。 動けるようになったら、弾力ハソックスを脱ぎます。		創部の抜糸をする場合があります。(術後6日目)	採血・採尿があります。 内診があります。 
投薬	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	10時から、腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。				
安静	ベッド上で寝て過ごします。 膝を立てたり、寝返りすることができます。 起き上がることはできません。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。	
食事	食事も水分も摂ることはできません。 ベッドに寝たままでもうがいをすることができます。	朝から水分開始、 昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。	
清潔		体を拭いて、お下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲で ご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くように しましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用 ください。		(術後4日目～) シャワー浴が開始となります。	